

山口幸二教授 略歴・研究業績

学歴

- 1966年3月 大阪外国語大学外国語学部モンゴル語科卒業
1969年3月 京都大学大学院文学研究科言語学専攻修士課程修了（文学修士）
1972年3月 京都大学大学院文学研究科言語学専攻博士課程中途退学

職歴

学内歴

- 1988年10月 立命館大学法学部教授就任
1992年4月 立命館大学大学院国際関係研究科教授（2003年3月まで配属）
2003年4月 立命館大学大学院言語教育情報研究科教授（配属）

学外役職

- 2004年 神戸大学留学生センター外部評価委員

学会

- 日本語教育学会、世界文学会 所属

研究業績（主たる著作・業績）

・著書

1. 共著『日本語学を学ぶ人のために』
（世界思想社 1992年 編者：玉村文郎）
2. 共編著『ことばと人間と社会と』
（京都修学社 1996年 共編者：児玉徳美）
3. 共編著『アジアの多文化社会と国民国家』
（人文書院 1998年 共編者：西川長夫、渡辺公三）

4. 共著『アジア憲法集』
(明石書店 2004年 編者：荻野芳夫、畑博行、畑中和夫)

・論文

1. 単著「日本語の格的表現における諸問題」
(『日本語・日本文化』3号 大阪外国語大学研究留学生別科 1972年3月)
2. 単著「1920, 30年代のモンゴル文学 現代モンゴル文学の成立」
(『野草』14, 15号 中国文芸研究会 1974年4月)
3. 単著「<従属句>における格表現について モンゴル語との比較対照的に」
(『日本語・日本文化』7号 1978年3月)
4. 単著「翻訳についての一考察 翻訳における『アジア的視点』について」
(『日本語・日本文化』8号 1978年9月)
5. 単著「モンゴル語の『格』の表現」
(『日本語・日本文化』9号 1980年2月)
6. 単著「言語学と構造主義 現代の言語状況と言語研究」
(『日本の科学者』20巻6号 日本科学者会議 1985年6月)
7. 単著「D・センゲー『アヨーシ』(1946年)に描かれた日本人像」
(『モンゴル研究』8号 モンゴル研究会 1985年12月)
8. 単著「『ダイトーア』思想と日本語 かつての日本語教育と現在」
(『日本語・日本文化』14号 1987年3月)
9. 単著「近・現代とことばの問題 日本語(邦語) 国語から人間のことばの一つとしての日本語へ」
(『立命館言語文化研究』1巻1号 立命館大学国際言語文化研究所 1989年12月)

10. 単著「日本語のゆくえ 日本語の「国際化」論とその言語観をめぐって」
(『立命館言語文化研究』2巻5・6号 1991年3月)
11. 単著「『国語』と『外国語』 日本における『言語的不平等』意識の形成」
(『ことばとそのひろがり』立命館大学法学会 1992年3月)
12. 単著「転換期の留学生教育」
(『立命館教育科学研究』4号 立命館大学教育科学研究所 1994年3月)
13. 単著「開かれた『ことばと文化』に向けて」
(『立命館大学人文科学研究紀要』67号 立命館大学人文科学研究所 1997年2月)
14. 単著「『共通語』という幻想 1930～40年代の『英語』と『国語』と『日本語』」
(『ことば・文学・思想 立命館大学法学部創立100周年記念論集』2001年12月)
15. 単著「分裂する『言語観』 膨張する『日本語』とその『教授法』をめぐって」
(『ことばとそのひろがり(2) 川上勉教授退職記念論集』立命館大学法学会 2004年3月)

・その他

1. 共著『JAPANESE FOR TODAY 新しい日本語』
(学研 1973年 共著者：吉田弥寿夫、寺村秀夫、大倉美和子ほか)
2. 単著「書評：児玉徳美『言語のしくみ 意味と形の統合』(大修館1991年4月)によせて」
(立命館国際言語文化研究所『研究所所報』5号 1991年9月)

3. 単著「日本語教育の歴史をめぐって」
(『外国人への日本語の教え方入門』アルク出版 1993年3月)
4. 単著「文学と『民族性』についての考察(その1) アジアとのか
かわりにおいて」
(『りべるたす』8号 1994年12月)
5. 単著「アジアと日本の『文化』交流の現状と課題」
(『りべるたす』10号 1996年12月)
6. 共著「(公開シンポジウム)多文化・多言語主義の現在 国民国家の
臨界？」
(『立命館言語文化研究』8巻5・6合併号 1997年3月)
7. 単著「特集プロジェクトAI:多民族・多文化の共存 その実態と理
論化:はじめに」
(『立命館言語文化研究』9巻2号 1997年12月)
8. 共著「(シンポジウム)グローバル化と多言語の共存」
(『立命館言語文化研究』12巻2号 2000年9月)
9. 共著「(シンポジウム)少数者言語の現在と未来」
(『立命館言語文化研究』12巻4号 2001年3月)

・表彰

- 2001年11月 留学生受け入れ制度100年記念留学生交流功労者表彰
(教育活動、個人の部、文部科学省「100年記念事業実行委員会」)